

MODE MASTER SCHOOL

パチスロ基礎知識①

～パチスロ運用における用語集～

○パチスロ運営・設定調整の基礎用語①

☆設定

設定（せってい）とは、パチスロ機のボーナス・小役等の**確率を変更**し、最終的な**出玉率（機械割）を上下させることができる機能**のこと。

大当たりの抽選に際しパチンコ玉の物理的な運動を伴うパチンコ機と異なり、パチスロ機の場合は大当たりの抽選に物理的な運動は関与せず、大当たりの抽選は全て内蔵されたコンピュータにおける乱数によって行われる。従ってパチンコ機（デジパチ）であれば、内蔵コンピュータの大当たり確率が固定でも釘調整でスタートチャッカーへの入賞率等を変化させて出玉を上下させることができるのに対し、パチスロ機では内蔵コンピュータの大当たり確率等が完全に固定されていると、店側は出玉を調整する手段がないことになってしまう。大当たり確率等を店側で調整できるようにする機能として搭載された。ただし例外で、『ハイパーリノ』（山佐）のように設定が1段階しかない（=出玉率の調整が不可能）という機種も稀に存在する。

各設定のボーナス・小役等の確率は、あらかじめメーカー側でプログラミングされた上で、保安通信協会（保通協）等の「指定試験機関」における検定で最終的な出玉率が一定の基準の範囲内に収まっているかどうかをチェックされ、それをクリアしたものだけがホールへの設置を許可される。

設定の段階数については最大6段階とされており、段階数が多すぎると指定試験機関における試験に時間を要すること、一方で段階数が少なすぎると店側の要望に柔軟に対応できなくなることなどから、4号機までの時代は設定は最大の6段階（設定1が最低、設定6が最高）とすることが一般的だった。

5号機の時代に入り、一時設定の段階数を減らす動きが広がり、アルゼ・山佐・SANKYO・ネットなどを中心に設定を4段階とした機種が多く登場し、設定表記がメーカーごとに異なるケースも出てきていたが（最高設定がアルゼでは「設定H」、山佐・SANKYOでは「設定4」、ネットでは「設定7」になるなど）、2018年現在、4段階か6段階のどちらかで落ち着いているメーカーが多い。設定は店の経営にも関わる重要事項であるほか、調整を目視できることでゴト防止の意味も持たせてある。

○パチスロ運営・設定調整の基礎用語②

☆IN・OUT

パチスロの場合、メダルの投入枚数を「IN」（イン）、払い出し枚数を「OUT」（アウト）と表す。パチンコは、OUT（アウト）・SAFE（セーフ）と表すことが多い。

☆出玉率

パチンコ・パチスロの玉・メダルが何玉（枚）投入されて、何玉（枚）払い出されたかを表す比率の事。 出玉率の求め方：**OUT枚数÷IN枚数×100 = (%)**

☆コイン単価

パチスロの1枚当たりの売上額を表したもの。パチンコでは玉単価と呼ぶ。

コイン単価の求め方：**売上÷IN枚数 = (円)**

☆コイン粗利

パチスロの1枚当たりの粗利額を表したもの。パチンコでは玉粗利と呼ぶ。

コイン粗利の求め方：**粗利額÷IN枚数 = (円)**

☆ベース

パチスロでよく使われるベースは、50枚当たり回せるゲーム数を表すもの。ベースが高ければ高いほどコイン単価が低くなりやすく、遊びやすい印象。

☆MY

その機種の出玉性能の荒さを表現する数値。一日の営業の中で一撃出玉が最大何枚出ているのか？平均で何枚出たのか？などを読み取る数値で、新台でも出玉性能を図るうえで、参考にする数値。平均で出したり、最大で出したりするので、確認が必要。

☆MY単価

この数値が基準となる900を超えるかどうかで、ヒット機の条件を兼ね備えているかを判断する数値。もちろんMY単価だけでは機械の良し悪しの判断はつかない。

MY単価の求め方：**最大MY÷コイン単価≥900**（900以上だと良い機種と言われる）

○パチスロ運営・設定調整の基礎用語③

☆売上

パチンコもパチスロもサンドから玉やメダルを借りた時に上がる売上の事。

パチンコ・スロット、機種別や台別に売上を算出することもある。

☆台売

店舗全体の売上を設置台数で割った数値。

台売の求め方：**売上÷設置台数 = (円)** (パチンコとスロットは分けて計算する)

☆粗利

売上から景品金額を引いた数値。

粗利の求め方：**売上-景品金額 = (円)**

☆台粗

店舗全体の売り上げを設置台数で割った数値。

台粗の求め方：**粗利÷設置台数 = (円)**

☆号機

○号機と言うのは、風営法の改正による内規変更で変わる整数で表示され、どの内規で開発されたのかを分別するための呼称。

○.◇号機と言う小数点以下の数字が入るのは、メーカーの組合内で取り決められた独自のルールや方針を自主規制として定めた時につけられ、どのルールで開発されたかを分別するための呼称。

○ = 法律（風営法）改正による呼称

◇ = 組合独自の自主規制による呼称

○パチスロ運営・設定調整の基礎用語④

☆TY

1回の当たりで得られるメダルの純増枚数を表す数値。

例えば、アイムジャグラーEXのボーナスのTYは、BIG325枚・REG104枚となる。

TYの算出方法：特賞中のOUT枚数-特賞中のIN枚数

例) アイムジャグラーEX BB：336枚超の払い出しで終了

1枚掛け×14枚払い出し = 純増13枚 純増13枚×25G = TY325枚

特賞中OUT：350枚 - 特賞中IN：25枚 = 325枚

☆天井（救済機能）

大きなハマリで投資金額が大きくなり過ぎないようにくい止める為の機能、もしくは天井に近づくにつれて途中でやめられなくなるため、より売上・稼働率を上げるための役割も同時に果たしている。天井G数は、機種ごとに違いがあり、浅いもので500G程度、深いものでアナザーゴッドポセイドンなど、1800Gを超える場合もある。

☆確率

各種特賞や小役・AT・ART・RTなどの抽選分母を数値で表したもの。

パチスロで使われる確率の分母は最大で65536 = 2の16乗。

これは遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則別表第3 不正な改造その他の変更を防止するための遊技機の構造に係る技術上の規格（第6条関係）

この主基板に装着される電子部品に関する規格でROMについての規格が厳格に定められている。

総容量は16KB未満、制御領域は3KBないし4.5KB未満、データ領域は3KB未満と。

つまり容量が現代においてもごく小さく、ギリギリなので65536より大きい数にするとこれを超えてしまう。逆に2の累乗にならない数で65536より小さい数だと、今度はその他の規格又項のほうで「作業領域としての用途以外の用途のために使用されるリードライトメモリーで遊技の結果に影響を及ぼすおそれがあるもの」として型式試験に適合しなくなる。

そのため2の16乗でなくてはならない。

○パチスロ運営・設定調整の基礎用語⑤

☆稼働予測

店舗全体・島別・機種別・台別など、翌日以降の営業で予想される稼働（IN枚数）を数値で表したものの。各店舗の状況に応じて、稼働予測は大きく変動するため、稼働に影響が出そうな要素をあらかじめ洗い出し、自店の稼働予測に役立てる。

この稼働予測が大きく間違っていると、正確なシミュレーションが立てられないため、非常に重要な要素なので、精度を上げる努力を続ける。

例) 全体稼働予測	8500枚		
機種別稼働予測	バジリスク絆	15台	10500枚
	マイジャグラーⅢ	15台	13000枚
	押忍!番長3	10台	5500枚
	ブラックラグーン3	5台	3000枚
	北斗の拳 新伝説創造	5台	2000枚

	店舗全体平均	50台	8500枚

☆粗利進捗

基本は店舗全体の月間粗利進捗状況。月間の粗利目標に対して、本日現在でいくらの粗利が確保できているのか？その粗利額は、計画に対してどのくらいのプラスなのか？マイナスなのか？を常に把握しておく必要がある。特に進捗が計画に対してマイナスの場合は、残りの日数で同粗利を振り分けるかが大事である。粗利進捗は、毎日確認・修正をしていく必要があり、残り日数で達成不可能な状態であれば、翌月以降の計画にどうやって上乗せをしていくのか？そもそも上乗せが可能なのか？稼働は計画通りなのか？きっちりと精査する。